

# 風水害対策について

大雨や強風は、わたしたちに何度も大きな災害をもたらしています。  
 ふだんから気象情報に十分注意し、避難の際もみんなで協力し行動しましょう。

## 大雨情報をすばやくキャッチ！

まずは、  
 確実な情報が大事  
 その次に迅速な対応



## 特別警報・警報・注意報の発表基準

現象の種類	発表基準		
	特別警報	警報	注意報
<b>大雨</b>	数十年に一度の大雨が予想され、大災害が起こる恐れが著しく高まっている場合	大雨によって重大な浸水害や土砂災害が起こる恐れがあると予想される場合 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     記録的短時間大雨情報                      1時間に雨量100mm                      ※大雨警報発表時、上記基準に達した場合に発表                 </div>	大雨によって浸水害や土砂災害が起こる恐れがあると予想される場合
<b>洪水</b>	※全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。	大雨や融雪によって、増水や氾濫により重大な洪水や水害が発生する恐れがあると予想される場合 ※対象となる重大な洪水や水害として、河川の増水・氾濫及び堤防の損傷・決壊、並びにこれらによる重大な浸水害があげられる。	大雨や融雪によって、増水により洪水や水害が発生する恐れがあると予想される場合 ※対象となる洪水や水害として、河川の増水及び堤防の損傷、並びにこれらによる浸水害があげられる。

## 雨の強さと降り方

(1時間雨量:mm)

10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
雨の音で話し声がよく聞き取れない。	ワイパーを速くしても見づらい。側溝や下水、小さな川があふれる。	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

## 台風

台風の接近が予想される際は、台風情報に十分注意し、被害を最小限にする備えが必要です。(風速単位:m/秒)

大きさ	風速15以上の半径	強さ	最大風速
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33以上44未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44以上54未満
		猛烈な	54以上

## 集中豪雨

集中豪雨は、限られた地域において、突発的・短時間に集中して降る豪雨で、梅雨の終わりごろによく発生します。発生の予測は非常に困難で、中小河川の氾濫、土砂崩れ、がけ崩れなどによる大きな被害をもたらすことがありますので、気象情報に十分注意し、万全の対策をとることが必要です。

- ラジオやテレビなどの気象情報に注意する。
- 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオを用意する。
- 非常時持出品を準備しておく。
- 飲料水や食料を数日分確保しておく。
- 早く帰宅し、家族と連絡を取り、非常時に備える。
- 浸水に備えて家財道具は高い場所へ移動する。
- 危険な地域では、いつでも避難できるよう準備をする。
- 町や防災関係機関の広報をよく聞いておく。

### 地下道(アンダーパス)に注意!

アンダーパスとは、道路や鉄道など立体交差する地下道をいいます。大雨・洪水などにより、アンダーパスの道路は真っ先に浸水してしまいます。地域のアンダーパスの場所を把握し、もしもの時に備えて迂回路を想定しておきましょう。普通自動車の場合、約30cmの浸水で走行困難になります。